

(参考様式4)

事業活用活性化計画目標評価報告書

活性化計画名	宇和島地区活性化			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
愛媛県 愛媛県宇和島市	380008	1	平成20年度～ 平成24年度	平成20年度～ 平成23年度
活性化計画の区域				
<p>宇和島地区活性化計画は、宇和島市全域のうち市街化・用途区域、市街地を形成している区域を除いた46,953haを計画区域とする。 うち事業活用活性化計画目標設定地区：2地区 (1) 水荷浦地区 (2) 法花津地区</p>				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	地区名	目標値 A	実績値 B	達成率(%) B/A	備考
定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保	水荷浦地区	1.3ha	1.3ha	100	
	法花津地区	12.8ha	12.8ha	100	
交流人口の増加	水荷浦地区	20%	485%	2,425	19,300人(実績)3,000人(現状)×100-100=485%

(コメント)

事業が予定どおり完成し、農業生産基盤等の向上が図られ、目標が達成された。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

(1) 水荷浦地区

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
小規模農林地等保全整備	農地復旧 A=0.8ha 軌道工 L=574m		宇和島市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
NPO法人「段畑を守ろう会」	平成20年度	平成23年度	平成24年4月1日

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
自然環境保全・活用施設	案内看板 N=1箇所		宇和島市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
NPO法人「段畑を守ろう会」	平成23年度	平成23年度	平成24年4月1日

(2) 法花津地区

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
農業用排水施設	用水路工 L=598m			宇和島市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
吉田町土地改良区	平成22年度	平成23年度	平成24年4月1日	

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
農業用道路	軌道工 L=652m			宇和島市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
吉田町土地改良区	平成22年度	平成22年度	平成23年4月1日	

事業の効果

本活性化計画区域内においては、他地域と同様に過疎化・高齢化の進行・後継者不足がみられ、農作業の維持管理に多大な労力を必要としている。本計画では、その対策として農業生産基盤の整備を行うことで農作業の省力化・効率化を行い持続的な営農を可能とし、地域農業を支える担い手の育成を行い、農山漁村地域の活性化に繋げていくことを目指している。

今回、活性化計画目標を掲げた2地区は、急傾斜段畑・山成畑で地形的条件も相まって耕作放棄地の増加や施設の老朽化及び未整備等の懸案事項があったが、本事業で荒廃畑の復旧・案内看板・用水路・農道の整備を行うことで、農作業の省力化・効率化が図られ農業従事者が営農を継続することが可能となり、耕作放棄地の抑制、後継者の確保・育成が図られた。

また、水荷浦地区では文化庁の重要文化的景観に選定された段畑を活かし、農漁村と都市住民との地域間交流が図られ、活力ある地域づくりにも寄与している。

3 総合評価

(コメント)

今回、農業生産基盤の整備を行い、施設の老朽化や未整備等の懸案事項を解消することで、農作業の省力化・効率化について一定の効果が見られた。

また、交流人口の増加や農家後継者、Uターン者等の新規就農者の増加にも寄与しており、農山漁村の活性化が図られたと言える。

4 第三者の意見

(コメント)

水荷浦地区においては、過疎化・高齢化の進行・後継者不足等から耕作放棄地が増加し重要文化的景観の消失が危惧される状況であった。しかし、荒廃段畑の復元と軌道工の整備により、農作業の省力化・効率化が図られ耕作放棄地の抑制に繋がったことにより、段畑石垣景観を後世に継承することができ、来訪者の増加による地域間交流においても大いに進展することとなった。

法花津地区においては、用水路と軌道工の整備に伴い、農業用水の安定供給と農作物の運搬機能が確保され、営農の合理化・省力化等により農業後継者やUターン者等の増加が図られたと考えられる。

今後もさらなる地域の活性化を目指した農業基盤整備が行われることを期待する。